

大学等名：松本大学松商短期大学部

テーマ：テーマV（卒業時における質保証の取組の強化）

- *「学修ポートフォリオ」や「ルーブリック」による学修成果の可視化を通して、自分の技術・能力の成長を把握し、「コンピテンス配分表」を参考にして、PDCAサイクルを回しつつ主体的に学修を進める環境を整備する。また、グローバル化に対応して、卒業時に学修成果として「ディプロマ・サプリメント」を発行することで、修得した技術・能力を客観的に評価する仕組みを構築し、本学の教育の卒業時における質保証として普及させる。
- *さらに、PDCAサイクルを回しながら、「コンピテンス育成」に着目した本学の教育改革を着実に進め、本学の教育の質保証の観点から、同窓会を通じた地元企業などと協力して評価と助言を得る体制を構築する。

取組概要：経済のグローバル化に対応した技術・能力（コンピテンス）育成を重視した教育への転換と、学修成果の可視化による主体的学修の促進

評価・助言体制

「外部評価・助言委員会」（同窓会・協定大学・高大接続事業実施高校による外部評価と助言を求める常設組織）

④履修（A：Action）

「コンピテンス配分表」（本学で重視し、各科目で育成されるコア・コンピテンスを示した表）

①履修（P：Plan）

アカデミック・アドバイザー
＜ゼミ担当教員＞

主体的な学修の促進

「学修ポートフォリオ」や「ルーブリック」等による学修成果の可視化を通して、次学期の学修目標の設定

社会に対する学修成果の提示

「ディプロマ・サプリメント」

取得資格・検定合格等の追加情報・学修成果の提示

＜レーダーチャート＞半年ごとの学修成果を表示することで、自分の成長を把握し、学修を進め、卒業時に社会に対して提示
＜文書による説明＞学生個々の技能や追加情報の記載

主体的な学修の促進

アカデミック・アドバイザー
＜ゼミ担当教員＞

「コンピテンス配分表」によるコア・コンピテンスを意識した履修相談

＜技術・能力評価の共通化＞

「ルーブリック」・「検定・資格」

＜学修成果の可視化＞

「学修ポートフォリオ」「e-ポートフォリオ」

③評価（C：Check）

* 指標による自己評価：主体的学修支援

* 4学期制下のアクティブ・ラーニング

②授業（D：Do）

5段階成績評価分布・GPA平均値の公表：＜目的＞成績評価の厳格化による教育の質向上と、学生の主体的学修支援

4学期制（クォーター制）導入：＜目的＞資格・検定試験に向けた集中学修、海外研修等の学外長期プログラムの実施によるコンピテンス育成

【事業の成果】	27年度 （実績値）	28年度 （目標値）	29年度 （目標値）	31年度 （目標値）
学生の授業外学修時間（1週間当たり）	6.6時間	7時間	11時間	18時間
卒業生追跡調査の実施率（調査回答者数／卒業生数）	7.1%	10%	15%	25%
質保証に関するFD・SDの参加率	67.3%	76.0%	84.0%	92.0%

・本学では、学生が将来活用できる汎用的能力（コンピテンス）に着目して教育改革を推進してきたが、本事業を4学期制移行と同時に実施することにより、コンピテンス育成を核とした本学の教育改革を加速させる。

・事業実施により、従来の“知識”の修得を主とする学修に加えて、個々の学生の主体的な学修を支援し、技術や能力を育成する教育への全学的転換が図られる。